

平成30年4月13日

株式会社日本タイムズ社  
川上道大 殿

学校法人明浄学院理事会  
明浄学院高等学校教職員一同  
明浄学院高等学校保護者会役員一同  
明浄学院照思会一同

### 抗議文

日本タイムズ掲載の2017年2月号から現在までの情報については、事実の誤認・曲解、揣摩臆測に基づく偏向報道で、当法人に対する名誉棄損・業務妨害を意図した悪意に基づくものであり、我々教職員、保護者、同窓生においても大変迷惑な行為で、重苦しい日々を強いられているなどその被害は甚大である。

現在、当法人は、日本タイムズの代表者に対して警察に被害届を提出し、刑事告訴と民事訴訟を行っているが、我々の思いはそれらでは尽くせないくらいに憤りを感じている。

すなわち、教職員にしてみれば「勤労」という生活の中心となる勤務先がいわれのない誹謗中傷に晒されることで、ともすれば勤労の意欲を挫くような辛い思いの中でこれに耐え、何よりも「生徒の将来のため」と教育に注力し、日々精進し続けていることから、心労・ストレスの原因を作り出すこととなっている。また、風評被害は生徒募集等にも影響していることなどから余分な対応を強いられている。

また、保護者に見れば愛する我が子が通う高等学校が謂れもない事案で辱められることは、我が子の将来・進路に向けての不安と動揺の日々に繋がるとともに、他方では理不尽な心無い報道に対してやり場のない怒りの気持ちが収まらない毎日でもある。

さらに、伝統ある女子校の明浄学院の同窓生としても、高等学校の継続に対する不安を煽るような虚偽の報道等により愛する母校が穢されたという想いで一杯である。

現在、このような状況にありながらも当法人・高等学校は適正に運営されており、新学期を迎えて生徒達も新学年の勉学に励んでいるところである。

私たちは、これらのことを踏まえ、断固抗議すると共に、今後の当学校法人・高等学校に関する日本タイムズへの記事掲載の取りやめと、これまでの一連の記事削除及び謝罪記事の掲載を茲に厳に求めるものである。

以上